



【学校教育目標】自分の可能性を信じ、新しい時代を心豊かで明るく、たくましく生きる生徒の育成
【キーワード】考え動く・・・『考動』
文責：湊口

支え合う仲間 中島中生 『今できることを全力で!』

☆お礼の気持ちを込めて・・・☆

☆応援いただき ありがとうございます (2/16) ☆

保護者の皆さんは、覚えていませんか？
かつて、愛媛県の中島町と姉妹都市の地
にいたこと、児童生徒が交流してい
たこと、この度の災害で中島町内に大きな被害が
おこることを知り、激励の気持ちを込めて、
特産物「いよかん」を送ってくださり
ました。当時の交流の中心は児童生徒
間で、小中学校に、とコミセンよりた
りいただきました。震災直後から、全国
から激励やお手伝いをいただき、感謝の気
持ちはいっぱいです。一人2個ずつ配り
ます。多分、生徒はお持ち帰りすると思
い、ご家庭で味わってください。今日
は代表も受け取りに出てと依頼が
急ぎよ、生徒会長にも出てもらい
ました。新聞社の取材もありましたが、あ
んなから姉妹都市提携のこと等を
聞いて、知っていたとのこと・・・
皆さんのご家庭でも話題にしてください。

本日(2/20)の学活の時間、先日いただいた「いよかん」のお礼のメッセージを書きました。先日、愛媛県松山市の中島町と本町の『ご縁』について書きましたが、改めて・・・。両中島町の交流のきっかけは、当時、全国に数多くあると思われていた「中島町」と称する自治体が、愛媛県と石川県に二団体しかないことが分かり、「広げよう ぼくらの世界」をテーマに子どもたちによる交流がスタートしたそうです。以後、「姉妹町」提携、友好少年使節団の定期交流や双方のイベントへの参加等、友好を深めたそうです。本校の先生の中にも、愛媛県の中島町のイベントに参加した経験がある先生もいるとか・・・。残念ながら、本町が七尾市になった時点で交流が途切れていました。

今回、能登の被害を知ったミカン農家の優志「中島小浜みかん会」が、かつての台風被害で受けた石川からの支援に対し、恩返し気持ちを込め、「自分たちの気持ちを送りたい」と松山市役所中島支所を通じ、七尾市中島地域づくり協議会に連絡し、「いよかん」を郵送してくれたそうです。(以上は、地域づくり協議会 杉木会長さんからお聞きした話です。)

生徒達は、いよかんの爽やかで甘い味を思い出しながら、感謝の気持ちを書きました。



各学級で、担任の先生から、上記のいきさつ等について、説明を受けてから、「お礼のメッセージ」の記入を行いました。



☆できあがり 感謝のいよかんの木☆



果汁たっぷりおいしい
いよかんを ありがとうございます。
このいよかんで元気が出ました！

いよかん とても美味しかったです。
ありがとうございます。
中島町のみかんはよく食べるので
うれしかったです。

昔の縁を大事に
いよかんを送って応援してくださり
ありがとうございます。
あたたかい気持ちになりました。
助け合いは大事だと
分かりました。

甘くて
美味しかったよ！

家族みんなで
食べたよ！

☆実は、愛媛県中島町からの激励には、パートⅡがあります！

☆簡易給食 パートⅡ☆

今週から、給食に汁物が提供されています。ただし、地震前は市内6給食施設が稼働していたのですが、現在は4つの施設での対応となります。従い、広域の配送車の運行に対応するため、給食時間の確保について制約が出ました。そこで、汁物の配膳は慣れるまで先生達が行います。下水道の状況が良いとは言えないそうなので、「お残しなし」で協力してください。



月曜日・火曜日の
メニューです。
お盆の代わりに
ランチマットは、
全校生徒分を支援員の
中谷さんが作って
くれました。



教職員の皆さん、ありがとうございます！